

申込不要 × 当日参加歓迎
どなたでもご参加いただけます

第7回

金 鉉哲 講師 発表

高等教育開発推進センター 全学教育推進部 語学教育室 専門：韓国語教育

タイトル：「**韓国の近現代劇成立と日本の影響**」

2010.11.5 (金) 12:10 ~ 12:50

(40分間・発表25分、質疑応答15分ほど)
※昼休みに持参弁当を食べながら

川北合同研究棟 4階
426 高教センター会議室

※いつもと会場が違いますのでご注意ください

なつめ茶 is ready!



ランチタイム FD

FD 研究会 — 研究と教育の関係を探る

発表内容の概要：

20世紀初期から日本と韓国は政治・経済・社会・文化的に密接、かつ複雑な関係を結んできた。特に、植民支配時代には、朝鮮半島出身の知識人は日本留学を通じ、新しい学問や思想に接するようになった。その後、彼らは韓国を代表する近代知識人として成長したのである。

つまり、韓国の近代知識人達は日本を通して、西洋の近代文物と思想を学んだわけである。しかし、植民支配と被支配という特殊な関係によるこの時期の日韓の相互関係については客観的分析に基づく研究が行われていない。特に韓国の文化芸術界で重要な位置を占めている演劇及び公演分野の研究は皆無な状態である。本研究は今まで研究されていない日韓公演芸術の相互関係の特徴を探究することが目的である。

今回の FD では、今までの研究について説明を行い、先生方々の貴重なご意見をお伺いしたいと思います。

■セミナーに関する問合せや発表の申込みはこちらまで：

高等教育開発推進センター教授 芳賀満

e-mail : mhaga@he.tohoku.ac.jp / tel : 3371

教務課分室 鎌田裕子

e-mail : y.kamada@bureau.tohoku.ac.jp / tel : 7551

